

広報うらにし 4月号

第 159 号
2016 4月1日
発行：浦西自治会
編集：自治会広報部

・ネパールの旅

広報うらにし紙面に、ネパール便りを寄せている坂本氏を 3 月上旬に訪ねてきました。JICA シニアボランティアで農業指導に従事する坂本さんが帰国するまでに行くとの約束を果たしました。香港経由で約 7 時間の空の旅でした。海が無く北にヒマラヤ山脈、南にインドと接し、乾季と雨季のはっきりした美しいヒンズー教の国です。最大の首都カトマンズは埃っぽいゴミだらけの街でした。食生活も貧しく道路は舗装率が低くデコボコで車はバウンドを繰り返します。でも、荘厳な世界の屋根ヒマラヤを眺め、人々は信心深く穏やかに生活に満足しているようです。物はなくとも心の豊かさには驚かされました。今回は坂本さんのお蔭で旅行社の企画ツアーとは一味も違うディープなネパールを堪能した旅でした。

・デジタル写真講座 4 回実施 22 名参加

デジカメ・スマホ等の普及によりカメラが身近になっている昨今、カメラの取扱からより良い写真撮影術を学ぶため自治公民館講座で写真講座を実施しました。座学に加え、野外に出て花や木々を写しました。また、その作品を評価することで技術の向上が図られました。カメラ片手に散歩・・・いいですね！



・美らまち通り隊 活動開始 50 名の隊員

新年度、予算も充実しておりますが、隊員も増えて緑豊かで花の咲き誇る地域づくりに頑張っていけます。毎月第一日曜日 9 時から活動します。一緒に活動できる方は是非とも力をお貸しください。



・28 年度新旧班長引継式

3 月 27 日（日）午後 8 時開催
新班長さんは夏祭り及び今年度から導入された班活性化事業（参加世帯 500 円自治会補助金）で公民館を活用し親睦を深めて下さい。
各班の班長さんは以下の通りです。

班	班 長	班	班 長
1	山城 幸久	16	金城 倫明
2	大村 聡	17	江口マコ・ダーノ
3	島村 恵子	18	宮里 吉郎
4	大城 慎儀	19	名嘉真健次
5	高良 政幸	20	松田とき江
6	宮野 忠	21	竹澤 勉
7	若津 恵子	22	根間 正富
8	玉寄 正道	23	高良 茂光
9	嘉手苺敏光	24	仲原 勇
10	平良 喜昭	25	上間 尚二
11	平識 善貞	26	喜納 俊郎
12	新城 邦保	27	宮城 澄子
13	宇栄原宗輝	28	新里 愛子
14	上運天英夫	29	又吉 薫
15	安里 肇		

行政区住民登録人口（3 月末）

世帯数 677 総人口 1804
自治会加入 407 加入率 60%

定期清掃（第 3 日曜日）

*サンレー紫雲閣職員参加

リサイクル活動（同上）

//// 4 月行事 ////

ピラティス体操 サークル

毎週火 午後 2 時半～3 時半

3 日 美らまち通り隊活動日

評議員会

8 日 当山小学校入学式

浦西中学校入学式

16 日 寿 JR 久高島ツアー

24 日 自治会定期総会

*図書丸来館日

10 日、24 日

・寿 JR 津堅島・浜比嘉島ツアー 19 日実施

津堅島の案内は当地出身外間光男さん、浜比嘉島は平識善貞さんが行っていたで、歴史、風習など本に無い色々なストーリーが聴けて大変満足でした。近いけど中々行けなかった島で元気をもらって帰ってきました。津堅島では有名なチキン人参を買い込み、外間さんからの大量のモズクの土産に感動。浜比嘉島ではシルミチューの鍾乳洞で祈りを捧げ厳粛な気持ちになりました。浜比嘉島は数々のパワースポットがあって見どころ満載でした。次回はパワースポットの頂点の久高島に渡ります。



・カーブミラー設置 E 棟 カトレア公園コーナー



3 月末に待望のカーブミラーが設置されました。近隣の会員から見通しが悪く危険だとの指摘で市に要請していました。他の場所でも必要とされる所があれば一報ください。

・寿倶楽部 春のピクニック 3 月 24 日（木）

軽便鉄道与那原駅舎展示資料館を訪ねたところ、運よく来館者 1 万人目となり、町企画観光課からサプライズの記念品と賞状が贈呈された。実際に乗ったことのある方もいて昔話に



与那原馬場

花が咲きました。その模様が新報、タイムスに掲載され、二重の喜びとなり、思い出深旅になりました。

・ピラティス体操サークル 22 名で始動

地域支援課の取り組む介護予防の一環としたピラティス体操を本格的なサークルとして立ち上げるようになりました。「生きいきと楽しく継続して、いつまでも、しなやかで、逞しい体作り」と賢い目標を掲げています。何もしなければ何も変わらない。やってみるべし。市内で 12 番目のサークルです。年齢層は一番若いとのことですが、あなたもやってみませんか？



毎週火曜日
午後 2 時半から
3 時半です。

・世界の秘境・ヒマール〜 No.20 浦西団地の皆さん・・・ナマスカール E53 坂本守章

ネパールは乾期の真っ只中です。先週、インド国境沿いの道路を利用する機会がありました。道路の一部は野生の動物が生息しているジャングルもありますが、ほとんどの木の葉は枯れ上がり、ジャングルとは思えないほどに葉が萎凋していました。草食の動物は餌を探すのに必死のようです。今回紹介する内容は、沖縄で何気なく使っている言葉がネパールでも同じ意味で使われている事例と、同じ食べ物について紹介致します。沖縄では甘藷（イモ）の葉のことを「カンダバー」と言っています。南風原町神里地域で栽培が盛んな「エーマカズラ（八重山カズラ）」と言う品種は葉を食用にする品種で、名前の由来は八重山から入ってきたと言われている。しかし、八重山の農家によるとこの品種は八重山では栽培されていないようです。どうしてエーマカズラになったのでしょうか？イモの葉の時だけイモのことをカンダと言い、葉をバと言うことはご存じだと思います。このカンダの由来は何からでしょうか？私にとって試験場で勤務している時からの謎の一つでした（八重山出身です）。この謎がネパールに来て解決（？）しました。ネパール語で甘藷（イモ）を「サカルカンダ」と言います。サカルとは甘いという意味で、カンダはイモのことです。その言葉に接して驚きました。カンダの由来はネパール語なのかと・・・又、母さんのことを「アマー」と言います。沖縄のアンマーとほぼ同じです。そう言えば、先月紹介したスリランカのシンハラ語では「アンマー」です。不思議ですね・・・食べ物では、多良間村の特産加工品「パナパンピン」と同じお菓子があります（写真 1）。形もほぼ似ていて味もそっくりです。酒のつまみにも良く合います。スーパーに行けば必ず買って来て、宮古島で勤務し酒を飲んでいた頃を思い出しています。それからトーフです。沖縄のトーフと同じです（写真 2）。しかも、店では切り売りです。水に浸して、必要な大きさを話せば切ってくれます。ネパールには 20 数年前に協力隊員として滞在していた 2 人の SV の方がいます。その方によるとネパールではトーフは以前見かけなかったとのこと。食材として新しく入ってきたのではないかと。もしかしたら、これは沖縄から持ち込まれたかも・・・ネパールで生活すると、沖縄と共通することに驚きを感じる事が多々あります。残り勤務も僅かになりましたが、色々な事を調べ紹介したいと思います。



*リサイクル収益金

3 月末実績

307,945 円

毎月第 3 日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用

されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力お願いします。

*缶はつぶして出して頂けると助かります。



猫の糞害に憤慨

責任をもって猫の世話をしましょう
去勢・不妊手術をしましょう



・野良猫にエサを与えているあなたへ！

その気持ちは分かります。しかし、エサのたくさんある所に猫達は集まり、子猫が生まれてしまったり、エサ場を汚してしまったりして近所の人たちに迷惑をかけ、人にとっても猫にとっても不幸なことになります。

自分はエサを与えているだけで飼っているわけではないという責任は通用しません。

エサを与えているあなたが
愛情と同じ責任を持って
猫達に接して下さい。